

# ★プログラム★

## テーマ「皮膚からはじめる子どもの健康」

---

7月3日(土) 1日目

第1会場 桜

---

9:00~10:00 シンポジウム1「皮膚所見から疑う全身疾患」

座長：大嶋 勇成（福井大学医学部病態制御医学講座小児科）

清島真理子（岐阜大学皮膚科）

原発性免疫不全を疑う皮膚症状

森尾 友宏（東京医科歯科大学大学院発生発達病態学分野）

自己炎症性疾患を疑う皮膚症状

西小森隆太（久留米大学小児科）

---

10:10~11:10 シンポジウム2「乳児血管腫診療の最前線」

座長：三石 剛（さいたま赤十字病院皮膚科）

土屋 邦彦（京都府立医科大学大学院医学研究科小児科学）

血管腫の最新治療とそのタイミング

神人 正寿（和歌山県立医科大学皮膚科）

乳児血管腫に対する形成外科治療の最前線

尾崎 峰（杏林大学医学部形成外科）

---

12:00~13:00 ランチョンセミナー1「乳幼児期におけるアトピー性皮膚炎診断の現状と今後の可能性」

座長：大矢 幸弘（国立成育医療研究センターアレルギーセンター）

皮脂 RNA 解析技術

桑野 哲矢（花王株式会社生物科学研究所）

乳幼児期におけるアトピー性皮膚炎早期診断の重要性

山本貴和子（国立成育医療研究センターアレルギーセンター）

共催：花王株式会社

---

13:10~14:10 シンポジウム3「ウイルス感染症と皮膚疾患 Update」

座長：長谷川俊史（山口大学大学院医学系研究科医学専攻小児科学講座）

下村 裕（山口大学大学院医学系研究科皮膚科学講座）

ヘルペスウイルスと皮膚疾患 ～ EB ウイルス関連疾患を中心として～

今留 謙一（国立成育医療研究センター高度感染症診断部／高度先進医療研究室）

水痘ワクチン定期接種化後の疫学変化と今後の課題

吉川 哲史 (藤田医科大学医学部小児科学)

COVID-19 臨床像 皮膚症状も含めて

忽那 賢志 (国立国際医療研究センター国際感染症センター)

---

14 : 20~15 : 20 スイーツセミナー1「長期寛解維持を見据えたアトピー性皮膚炎の治療戦略」

座長 : 青山 裕美 (川崎医科大学皮膚科学教室)

新生児期を含めた乳児期の皮膚症状について

—アトピー性皮膚炎かどうか、いつ、どのように診断しますか?—

佐々木りか子 (梨の花ひふ科)

アトピー性皮膚炎の病態と長期寛解維持について

三井 広 (山梨大学医学部皮膚科)

共催 : サノフィ株式会社

---

15 : 30~16 : 30 シンポジウム4「小児皮膚が関わる学校保健の動向」

座長 : 日野 治子 (関東中央病院皮膚科)

荒川 浩一 (社会福祉法人希望の家附属北関東アレルギー研究所)

皮膚科医と小児科医が知っておきたい生活管理指導表の記載

竹村 豊 (近畿大学医学部小児科学教室)

小児科医と皮膚科医が知っておきたい学校保健の皮膚科的課題

島田 辰彦 (島田ひふ科)

---

16 : 40~18 : 10 共催シンポジウム2「保湿から始める子どもの皮膚の健康

—スキンケアによるアトピー性皮膚炎の予防と治療—」

座長 : 大矢 幸弘 (国立成育医療研究センターアレルギーセンター)

保湿剤によるアトピー性皮膚炎の治療効果と予防効果

二村 昌樹 (国立病院機構名古屋医療センター小児科)

アトピー性皮膚炎の痒みへの温泉水中の活性物質含有保湿剤の役割

石氏 陽三 (東京慈恵会医科大学皮膚科学講座)

共催 : 株式会社ピエール ファーブル ジャポン (アベヌ)

---

## 第2会場 楓A

---

9 : 00~10 : 00 教育講演1

座長 : 井川 健 (獨協医科大学皮膚科)

遺伝的要因から考えるアトピー性皮膚炎・アレルギー性疾患の発症、増悪メカニズム

秋山 真志 (名古屋大学大学院医学系研究科皮膚科学分野)

---

10：10～11：10 **教育セミナー1**

座長：河野 陽一（千葉ろうさい病院）

小児のアトピー性皮膚炎とマイクロバイオーム

下条 直樹（千葉大学予防医学センター）

共催：アツヴィ合同会社

---

12：00～13：00 **ランチョンセミナー2「新生児期からのアレルギー予防  
～スキンケアの重要性と指導法のアップデート～」**

座長：福家 辰樹（国立研究開発法人国立成育医療研究センター  
アレルギーセンター総合アレルギー科）

新生児期、乳児期にみられる皮膚トラブルとスキンケア

吉田 和恵（国立研究開発法人国立成育医療研究センター  
感覚器・形態外科部皮膚科）

生まれてすぐの赤ちゃんへのプレゼント～スキンケアの必要性～

原口 純（国立研究開発法人国立成育医療研究センター）

共催：ピジョン株式会社

---

13：10～14：10 **共催シンポジウム1「難治性アトピー性皮膚炎の診療の攻略」**

座長：佐々木りか子（梨の花ひふ科）

井上 徳浩（国立病院機構大阪南医療センター小児科）

小児アトピー性皮膚炎のバイオマーカー

長尾みづほ（国立病院機構三重病院臨床研究部／アレルギーセンター）

アトピー性皮膚炎診療における血清バイオマーカーの意義

片岡 葉子（大阪はびきの医療センター皮膚科）

共催：株式会社シノテスト

---

14：20～15：20 **教育講演5**

座長：石黒 精（国立成育医療研究センター教育研修センター/ 血液内科）

神経線維腫1型に対する分子標的治療

寺島 慶太（国立成育医療研究センター小児がんセンター脳神経腫瘍科）

---

15：30～16：30 **スイーツセミナー2**

座長：江藤 隆史（あたご皮フ科／東京通信病院皮膚科）

これからもアトピー性皮膚炎治療の基本は外用療法

常深祐一郎（埼玉医科大学皮膚科）

共催：鳥居薬品株式会社

---

16：40～17：40 **教育セミナー2**

座長：高森 建二（順天堂大学大学院環境医学研究所）

腸内細菌叢をはじめとするヒトマイクロバイオーームとアレルギー疾患

成田 雅美（杏林大学医学部小児科学教室）

共催：ミヤリサン製薬株式会社

---

### 第3会場 楓B

---

9：00～10：00 **教育講演2**

座長：高森 建二（順天堂大学大学院環境医学研究所）

眼皮膚白皮症の分子メカニズムと患者指導

鈴木 民夫（山形大学医学部皮膚科学講座）

---

10：10～11：10 **教育講演3**

座長：松原 知代（獨協医科大学埼玉医療センター小児科）

表皮水疱症の診断と治療最前線

石河 晃（東邦大学医学部皮膚科学講座）

---

12：00～13：00 **ランチョンセミナー3「乳幼児期及び学童期におけるアレルギーマーチへのアプローチ」**

座長：今井 康友（兵庫医科大学病院皮膚科学教室）

乳児期への適切なスキンケア介入は、アレルギーマーチへの発展を防ぐのか？

堀向 健太（東京慈恵会医科大学葛飾医療センター小児科）

幼児・学童期アトピー性皮膚炎の夏場のスキンケア指導は？

馬場 直子（神奈川県立こども医療センター皮膚科）

共催：株式会社ナチュラルサイエンス

---

13：10～14：10 **教育講演4**

座長：神戸 直智（京都大学大学院医学研究科皮膚科学）

小児の薬疹—おとなの薬疹、こどもの薬疹—

水川 良子（杏林大学医学部皮膚科）

---

14 : 20~15 : 20 **教育講演 6**

座長：金澤 伸雄（兵庫医科大学皮膚科）

遺伝性血管性浮腫（HAE）における最近の話題

～ HAE ガイドライン改訂のポイントと治療の進歩について～

福永 淳（神戸大学大学院医学研究科内科系皮膚科学分野）

---

**質疑応答会場 桐 A**

---

9 : 00~10 : 00 **一般演題 1 「腫瘍・形成異常ほか」**

座長：小林 正夫（日本赤十字社中四国ブロック血液センター）

鶴田 大輔（大阪市立大学大学院医学研究科皮膚病態学）

O-1 . 口蓋裂、外胚葉異形成、頭部の難治性皮膚炎から  
ankyloblepharon-ectodermal defects-cleft lip/palate  
syndrome と診断した 1 例

土屋茉里絵（国立成育医療研究センター皮膚科）

O-2 . 手術を行った infantile digital fibromatosis の小児例

帆足 俊彦（日本医科大学皮膚科）

O-3 . 新生児期に皮疹を契機に診断された乳児白血病の 1 例

田中 佳代（福井大学医学部附属病院小児科）

O-4 . 足底に生じた肥満細胞腫の 1 例

西田 絵美（岡崎市民病院皮膚科）

O-5 . 造血幹細胞移植によって難治性湿疹が寛解した Wiskott-Aldrich  
症候群の 1 例

犬塚 祐介（国立成育医療研究センターアレルギーセンター）

O-6 . SLC39A4 遺伝子の複合ヘテロ接合性変異による腸性肢端皮膚炎を  
発症した 1 例

市來 尚久（岐阜大学医学部皮膚科）

O-7 . 低亜鉛母乳による亜鉛欠乏症候群の 1 例

沢辺優木子（埼玉県立小児医療センター皮膚科）

---

10 : 10~11 : 10 **一般演題 2 「先天性疾患（色素異常症・角化症・水疱症を含む）」**

座長：伊藤 保彦（日本医科大学小児科）

須賀 康（順天堂大学浦安病院皮膚科学教室）

O-8 . Linear and whorled nevoid hypermelanosis の 3 症例

外山 雄一（自治医科大学医学部皮膚科）

O-9 . IEMP (Idiopathic Eruptive Macular Pigmentation) と考えら  
れた女兒の 1 例

豊澤 優衣（順天堂大学医学部附属浦安病院皮膚科）

- O-10. 長島型掌蹠角化症の1例  
小林 里実 (聖母病院皮膚科)
- O-11. 道化師様魚鱗癬の一例  
吉川 剛典 (名古屋大学病院皮膚科)
- O-12. 低身長を認める先天性表皮水疱症児の1例  
磯崎由宇子 (福井大学医学部小児科)
- O-13. 2型モザイクによる分節型ヘイリーヘイリー病の小児例  
朝比奈泰彦 (慶應義塾大学皮膚科)
- 

13:10~14:10 一般演題3「感染症ほか」

座長: 大日方 薫 (順天堂大学医学部附属浦安病院小児科)

今福 信一 (福岡大学医学部皮膚科学教室)

- O-14. 川崎病の既往があり腺病性苔癬との鑑別を要した1例  
日置 千華 (大阪医科大学皮膚科学教室)
- O-15. 左膝擦過傷にリンパ管炎を伴い皮膚ノカルジア症と診断した7歳  
女兒の2例  
川浪 春菜 (福井県立病院小児科)
- O-16. 非侵襲的なダーモスコピー検査が診断に有用であった小児疥癬の  
1例  
松本 千夏 (東邦大学医療センター大橋病院)
- O-17. ミノサイクリン内服が皮疹の再発に奏効した granulomatous  
periorificial dermatitis の小児例  
宗石 依子 (福井大学医学部附属病院皮膚科)
- O-18. アモキシシリンによって誘発されたEBVによるウイルス性発疹症  
伊藤 満 (大垣市民病院皮膚科)
- O-19. 両坐骨結節部位に巨大な肥厚性瘢痕を生じた被虐待児の1例  
高松 法子 (神奈川県立こども医療センター皮膚科)
- O-20. パンダの眼徴候とバトル徴候を認め、虐待と鑑別を要した8か月  
女兒  
佐藤 恵美 (獨協医科大学小児科学)
- 

14:20~15:20 一般演題4「蕁麻疹・食物アレルギー」

座長: 五十嵐 徹 (日本医科大学小児科学教室)

新井 達 (聖路加国際病院皮膚科)

- O-21. 皮膚科クリニックとの医療連携に関する検討  
松原 知代 (獨協医科大学埼玉医療センター小児科)
- O-22. 皮膚科クリニックを受診する小児の蕁麻疹病型調査  
末廣 昌敬 (広島大学医系科学研究科皮膚科)

- O-23. 川遊び中にショック症状を呈した寒冷蕁麻疹の幼児例  
酒井あゆみ（横浜市立大学皮膚科）
- O-24. モモ・サクランボによる小児 FDEIA の 1 例  
二村 恭子（藤田医科大学ばんだね病院総合アレルギー科）
- O-25. Pork-cat syndrome の 14 歳女子—第 2 報—  
水谷 亮（獨協医科大学埼玉医療センター小児科）
- O-26. スギ花粉症の減感作療法開始後に特定の果物により即時型反応が誘発された 2 例  
矢上 晶子（藤田医科大学ばんだね病院総合アレルギー科）
- O-27. 当科でパッチテストを行った小児例のまとめ  
鈴木加余子（藤田医科大学ばんだね病院総合アレルギー科）
- 

15 : 30~16 : 30 一般演題 5「臨床研究・基礎研究」

座長：小林 茂俊（帝京大学医学部附属病院小児科・小児アレルギーセンター）

向井 秀樹（東邦大学医療センター大橋病院皮膚科）

- O-28. 生後 1 か月の皮膚状態と皮膚細菌叢および腸内細菌叢の関連  
藤浪 未沙（株式会社ナチュラルサイエンス）
- O-29. 住環境中のアレルゲン・刺激物質と乳幼児の皮膚性状の関連性  
羽毛田記子（花王株式会社スキンケア研究所）
- O-30. コロナ禍における小児の角層状態の変化に関する検討  
仲尾次浩一（ピラス株式会社中央研究所）
- O-31. 新規外用 JAK 阻害剤デルゴシチニブの皮膚バリア機能に関する作用  
小寺 真央（鳥居薬品株式会社）
- O-32. 新規外用 JAK 阻害剤デルゴシチニブのアトピー性皮膚炎及び IL-31 誘発そう痒モデルマウスにおける抗そう痒作用  
土井雅津代（鳥居薬品株式会社）
- O-33. 小児アトピー性皮膚炎患者を対象としたデルゴシチニブ軟膏の国内第 3 相試験：年齢区分別解析の検討  
佐伯 秀久（日本医科大学大学院医学研究科皮膚粘膜病態学分野）
- O-34. ジファミラスト軟膏（PDE4 阻害剤）の小児及び成人アトピー性皮膚炎患者を対象とした第 3 相試験  
馬場 直子（神奈川県立こども医療センター皮膚科）
-

---

7月4日(日) 2日目  
第1会場 桜

---

9:00~10:00 特別シンポジウム「臨床医が知っておくべき基礎研究の最前線」

座長：斎藤 博久（国立成育医療研究センター研究所）

秋山 真志（名古屋大学大学院医学系研究科皮膚科学分野）

小児科医から見たアトピー性皮膚炎の免疫

松本 健治（国立成育医療研究センター研究所免疫アレルギー・  
感染研究部）

皮膚バリア機構とその異常

天谷 雅行（慶應義塾大学医学部皮膚科／理化学研究所総合生命  
医科学研究センター）

---

10:10~11:10 シンポジウム5「皮膚腫瘍性疾患の基礎を学ぶ」

座長：森脇 真一（大阪医科大学皮膚科）

吉川 哲史（藤田医科大学医学部小児科学）

小児皮膚腫瘍性疾患—適切に対処するために—

土屋 邦彦（京都府立医科大学大学院医学研究科小児科学）

皮膚科領域の超音波検査の有用性：皮下腫瘍性病変を中心に

Usefulness of high-resolution ultrasonography in dermatology :  
focusing on subcutaneous mass lesions

藤岡 和美（日本大学医学部放射線医学系放射線医学分野／  
医療法人社団杏幸会藤岡皮膚科クリニック）

---

11:20~12:20 特別講演

座長：石河 晃（東邦大学医学部皮膚科学講座）

感染症をめぐる最近の話題～ COVID-19 から耐性菌まで～

舘田 一博（東邦大学医学部微生物感染症学講座）

---

12:30~13:30 ランチョンセミナー4「アトピー性皮膚炎によく合併する発達障害と応用  
行動分析」

座長：大矢 幸弘（国立成育医療研究センターアレルギーセンター）

アトピー性皮膚炎によく合併する発達障害

大矢 幸弘（国立成育医療研究センターアレルギーセンター）

応用行動分析学による子ども支援の可能性

奥田 健次（学校法人西軽井沢学園）

共催：大塚製薬株式会社 メディカル・アフェアーズ部

---

13 : 40~14 : 40 シンポジウム7「小児アレルギー疾患のトータルマネジメント」  
座長：吉原 重美（獨協医科大学医学部小児科学）  
照井 正（日本大学総合科学研究所）  
極める！アトピー性皮膚炎のプロアクティブ療法  
樺島 重憲（国立成育医療研究センターアレルギーセンター）  
クリニックで始める！食物経口負荷試験  
世間瀬基樹（東京シテッククリニック三田）  
果物アレルギーを整理！加熱プリックの有用性  
夏目 統（浜松医科大学小児科学教室）

---

14 : 50~15 : 50 シンポジウム8「アレルギー疾患の発症予防最前線」  
座長：池田 志孝（順天堂大学医学部附属順天堂医院皮膚科）  
宇理須厚雄（うりすクリニック）  
アトピー性皮膚炎発症予防の最前線  
森田久美子（東京都立小児総合医療センターアレルギー科／  
慶應義塾大学医学部小児科）  
食物アレルギー発症予防の観点から見た乳児期の栄養・離乳食の進め方  
「授乳・離乳の支援ガイド」（2019年）改定のポイント  
成田 雅美（杏林大学医学部小児科学教室）

---

## 第2会場 楓A

---

9 : 00~10 : 00 教育講演7  
座長：賀藤 均（国立成育医療研究センター）  
紫斑を見たら～出血性疾患に関する最近の進歩  
石黒 精（国立成育医療研究センター教育研修センター／血液内科）

---

10 : 10~11 : 10 シンポジウム6「小児脱毛症診療アップデート」  
座長：伊藤 泰介（浜松医科大学皮膚科学講座）  
成田 雅美（杏林大学医学部小児科学教室）  
小児の脱毛症：遺伝性疾患を疑うとき  
下村 裕（山口大学大学院医学系研究科皮膚科学講座）  
小児の脱毛症：診断と治療のコツ  
大山 学（杏林大学医学部皮膚科学教室）

---

12：30～13：30 **ランチョンセミナー5「将来に瘢痕を残さない座瘡の導入療法」**

座長：島田 辰彦（島田ひふ科）

林 伸和（虎の門病院皮膚科）

座瘡の病態を理解する

林 伸和（虎の門病院皮膚科）

思春期座瘡と学校保健活動

島田 辰彦（島田ひふ科）

共催：サンファーマ株式会社

---

13：40～14：40 **共催シンポジウム3「小児接触皮膚炎の最新情報」**

座長：松永佳世子（藤田医科大学医学部アレルギー疾患対策医療学講座）

二村 昌樹（国立病院機構名古屋医療センター小児科）

小児の接触皮膚炎

伊藤 明子（ながたクリニック皮膚科／藤田医科大学アレルギー疾患

対策医療学／新潟大学大学院医歯学総合研究科皮膚科学分野）

接触皮膚炎診療ガイドライン2020のポイント

矢上 晶子（藤田医科大学ばんだね病院総合アレルギー科）

共催：株式会社アンセル・ヘルスケア・ジャパン

---

14：50～15：50 **教育講演9**

座長：秀 道広（広島大学大学院医系科学研究科皮膚科学）

アトピー性皮膚炎の新規薬剤をどうつかいこなすか

佐伯 秀久（日本医科大学大学院医学研究科皮膚粘膜病態学分野）

---

**第3会場 楓B**

---

10：10～11：10 **教育講演8**

座長：五十嵐敦之（NTT 東日本関東病院皮膚科）

生まれつきの症状を諦めない～先天性皮膚疾患の診断と治療の最前線～

久保 亮治（慶應義塾大学医学部皮膚科）

---

12：30～13：30 **ランチョンセミナー6「Youth 世代のアトピー性皮膚炎診療」**

座長：勝沼 俊雄（東京慈恵会医科大学附属第三病院小児科）

佐伯 秀久（日本医科大学大学院医学研究科皮膚粘膜病態学分野）

痒みの評価と痒みをターゲットとする治療の意義

藤澤 隆夫（国立病院機構三重病院）

痒みをターゲットとした治療の進化

五十嵐敦之 (NTT 東日本関東病院皮膚科)

共催：マルホ株式会社

---

13：40～14：40 優秀演題セッション

座長：石黒 精 (国立成育医療研究センター教育研修センター/  
血液内科)

佐伯 秀久 (日本医科大学大学院医学研究科皮膚粘膜病態学分野)

AO-1 . 乳幼児の皮膚バリア機能に及ぼす皮膚常在菌叢の影響に関する検討

岩井 美樹 (ピアス株式会社中央研究所)

AO-2 . 早期新生児の出生後 2 時間までの経皮水分蒸散量 (TEWL)  
の変化

杉山 剛 (一宮西病院小児科)

AO-3 . アトピー性皮膚炎患者における夏季の石鹸洗浄についての評価者  
ブラインド左右ランダム化非劣性試験

加藤由希子 (浜松医科大学小児科)

AO-4 . 脈管異常の皮膚病変の評価法確立のための後方視的観察研究

安江 志保 (岐阜大学医学部附属病院小児科)

AO-5 . 当院の乳児血管腫に対するプロプラノロール内服 93 例のまとめ

李 理心 (虎の門病院皮膚科)

AO-6 . 乳児血管腫患者家族の QOL 調査の妥当性検討および前方視的解析

小関 道夫 (岐阜大学医学部附属病院小児科)

---

質疑応答会場 桐 A

---

9：00～10：00 一般演題 6「アトピー性皮膚炎」

座長：大石 拓 (高知大学医学部小児思春期医学教室)

片桐 一元 (獨協医科大学埼玉医療センター皮膚科)

O-35. 全国一般乳幼児のアトピー性皮膚炎の実態について

—エコチル調査より—

齋藤麻耶子 (国立成育医療研究センターエコチル調査メディカル  
サポートセンターアレルギーセンター)

O-36. アトピー性皮膚炎児のケアに関する小児病棟看護師へのアンケート  
調査

辻 慶紀 (高知大学小児思春期医学講座)

O-37. 皮膚症状改善からアドヒアランスの変化につながった経験例

井上 徳浩 (国立病院機構大阪南医療センター)

- O-38. 低蛋白血症を伴う重症アトピー性皮膚炎の臨床経過の検討  
豊國 賢治 (国立成育医療研究センターアレルギーセンター)
- O-39. 静岡県西部地域における低蛋白血症を伴う重症アトピー性皮膚炎  
による入院患児数の年次推移—後方視的症例集積研究—  
幸田 昌樹 (浜松医科大学医学部附属病院小児科)
- O-40. 乳児期にアトピー性皮膚炎を発症する児では臍帯血 TARC/  
CCL17 が高い  
山出 史也 (千葉大学大学院医学研究院小児病態学)
- O-41. プチスタディーを元にした食物アレルギー発症予防の実践と課題  
田中 泰樹 (小児科すこやかアレルギークリニック)
- 

10:10~11:10 一般演題7「膠原病ほか」

- 座長：武井 修治 (鹿児島大学大学院医歯学総合研究科小児科)  
金蔵 拓郎 (鹿児島大学大学院医歯学総合研究科皮膚科)
- O-42. 背部に発症した限局性強皮症の小児例  
水戸 綾子 (東京医科大学皮膚科学分野)
- O-43. 小児剣創状強皮症 3 例の臨床的検討  
津村 協子 (聖路加国際病院皮膚科)
- O-44. 皮下石灰化を合併した間質性肺炎合併抗 MDA-5 抗体陽性若年性  
皮膚筋炎の 1 例  
西田 豊 (群馬大学大学院医学系研究科小児科)
- O-45. シェーグレン症候群との鑑別に苦慮した小児の顔面環状紅斑：  
皮膚エリテマトーデスの 1 例  
加納 宏行 (岐阜市民病院皮膚科)
- O-46. Cutaneous collagenous vasculopathy の 1 例  
宮内 一成 (鹿児島大学医学部皮膚科)
- O-47. 脊髄性筋萎縮症 (SMA) 0 型に生じた皮膚症状  
～指趾壊死と昏睡水疱～  
工藤 恭子 (福岡市立こども病院皮膚科)
- 

- P-1 . 日本臨床皮膚科医会学校保健委員会 令和 2 年度活動報告  
島田 辰彦 (日本臨床皮膚科医会学校保健委員会)
- P-2 . 日本小児皮膚科学会学校保健委員会の活動 (2021 年) 予定  
日野 治子 (日本小児皮膚科学会学校保健委員会)